

授業における生徒指導の視点！

生徒指導の目的として、いじめや暴力、不登校など、課題を抱えている子どもたちへの指導や対応だけではなく、子どもたちが主体的に学び、共に生活できる姿勢の育成があります。生徒指導を充実させるためには、日々の教育活動において、右のような点を踏まえた指導を行うことが大切です。また、授業づくりにも生かすことで学力向上を図ることもつながります。このような視点に立った授業づくりをしている伊万里市立大坪小学校の実践を紹介します。

日々の教育活動で留意すること

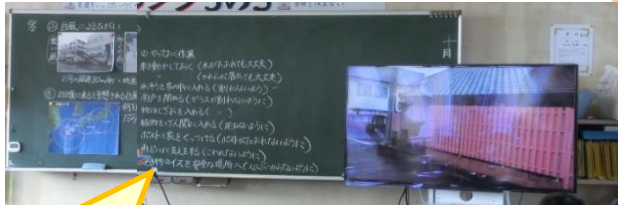
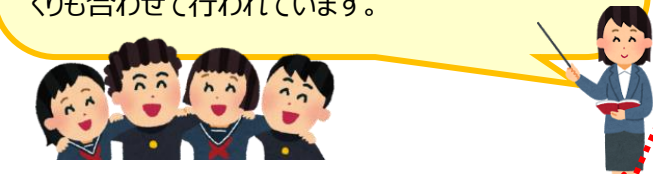
- ① 自己決定の場を与え自己の可能性の
開発を援助すること
- ② 児童生徒に自己存在感を与えること
- ③ 共感的な人間関係を育成すること
(開発的生徒指導)



(出典) 生徒指導提要

資料1 授業に生徒指導の機能を生かすためのチェックリスト

資料1は、日々の教育活動で留意する3つのことを授業に生かすために具体化したチェックリストの一部です。このチェックリストに基づき、全職員で定期的に授業を振り返り、授業改善が行われています。また、支持的風土を大切にしたい学級づくりも合わせて行われています。



(上) 台風の被害について、資料を豊富に準備し、様々な視点から考えを持たせています。
(右) 児童のそばまで行き、できた作品をしっかりほめ、自信を持たせています。



(左) 日常から良い態度をほめていることで、どの児童も教科書を持って読むという態度が身に付いています。



	4:よくしている 3:時々している 2:あまりしていない 1:ほとんどしていない				自己評価				
	1	2	3	4	1	2	3	4	
自己決定の場を与えることに関する手立て	1 児童・生徒が興味・関心をもつように、資料や教材提示の方法を工夫していますか？	4	3	2	1	4	3	2	1
	2 思考場面や観察場面で、考えたり、観たりする視点を示していますか？	4	3	2	1	4	3	2	1
	3 児童・生徒が主体的に学べるよう、個に応じた支援を行っていますか？	4	3	2	1	4	3	2	1
	4 児童・生徒が、学習課題や学習方法、学習形態などを選択できるようにしていますか？	4	3	2	1	4	3	2	1
	5 一人で調べたり、考えたりする時間を十分に与えていますか？	4	3	2	1	4	3	2	1
	6 児童・生徒が、自分の考えをみんなの前で発表する場を設けていますか？	4	3	2	1	4	3	2	1
	7 教育機器の活用を図ったり、多様な教材、教具、資料を準備したりしていますか？	4	3	2	1	4	3	2	1
	8 児童・生徒が今日の学習をふり返り、これからの学習について考えるような場を設けていますか？	4	3	2	1	4	3	2	1
	9 自分の考えや思考過程が分れるようなノート取り方の指導をしていますか？	4	3	2	1	4	3	2	1
	10 多様な考えを生むような発問を工夫していますか？	4	3	2	1	4	3	2	1
自己存在感を与えることに関する手立て	11 どんな発言や考えも受け止めて大切にしていますか？	4	3	2	1	4	3	2	1
	12 名前を呼んだり、目を見て話したりするけど、児童・生徒に存在感をもたせるようにしていますか？	4	3	2	1	4	3	2	1
	13 つぶやきを積極的に取り上げて、発表のチャンスを与えるようにしていますか？	4	3	2	1	4	3	2	1
	14 児童・生徒が協力して学習できるように、多様な学習形態を取り入れていますか？	4	3	2	1	4	3	2	1
	15 児童・生徒が授業に参加しているという気持ちをもてるように、発問などを工夫していますか？	4	3	2	1	4	3	2	1
	16 授業に意欲を見せない児童・生徒や学業が振るわない児童・生徒も、学習し続けるような配慮をしていますか？	4	3	2	1	4	3	2	1
	17 授業の中で、「よくできたね」「がんばっているな」等の、承認や称賛、励ましをしていますか？	4	3	2	1	4	3	2	1
	18 児童・生徒の実態を把握し、授業のどの場面でもどの児童・生徒を生かすか、見通しをもって指導していますか？	4	3	2	1	4	3	2	1
	19 多様な考えを提示して、お互いの考えに気付かせる工夫をしていますか？	4	3	2	1	4	3	2	1
	20 発言をしない児童・生徒に配慮していますか？	4	3	2	1	4	3	2	1
共感的な人間関係を育成することに関する手立て	21 良い態度をほめ、好ましくない態度は正すようにしていますか？	4	3	2	1	4	3	2	1
	22 たたどしい発言でも言い終わるまで待ったり、的外れの考えや意見のように思われても、熱心に聴いたりしていますか？	4	3	2	1	4	3	2	1
	23 間違った応答を笑わないように指導していますか？	4	3	2	1	4	3	2	1
	24 児童・生徒一人一人を受け入れてほめ、児童・生徒の人間性を認めるようにしていますか？	4	3	2	1	4	3	2	1
	25 チャイムと同時に授業を始め、チャイムと同時に授業を終えるようにしていますか？	4	3	2	1	4	3	2	1
	26 友だちの意見に対してうすいたり、拍手をしたりするなど、反応を返すように促していますか？	4	3	2	1	4	3	2	1
	27 自己開示を、児童・生徒から学ぶ姿勢をもってしていますか？	4	3	2	1	4	3	2	1
	28 相互評価を取り入れ、お互いのよさを認め合うことができるようにしていますか？	4	3	2	1	4	3	2	1
	29 教師主導ならず、児童・生徒のテンポに合わせて授業をすすめていますか？	4	3	2	1	4	3	2	1
	30 発言をつなげ、集団での学び合いとなるようにしていますか？	4	3	2	1	4	3	2	1

『西部型授業』シリーズ！つかむ過程編

『西部型授業』のシリーズとして、特に、「学習のめあてをつかむ」ことにポイントをあてて紹介します。

学習のめあての板書や掲示は、多くの学校で共通理解が進み、実践されているところです。資料2は、「授業のはじめに学習のめあてを示すこと」についての学校と児童生徒への昨年度の質問紙調査結果です。注目したい点は、「1 当てはまる」「3 どちらかといえば当てはまらない」と回答した学校と児童生徒の意識に大きな差が見られている点です。つまり、学習のめあては、先生が示しているにも関わらず、子どもたちには十分に意識されていないことがうかがえます。

学習のめあては、毎時間のことです。子どもたちが「学習のめあてをつかむ」ために、つかむ過程の授業改善のポイントとして振り返ってみてください。



資料2 目標(めあて・ねらい)設定の調査結果

授業のはじめに目標(めあて・ねらい)が示されていたと思いますか

小学校	1	2	3	4
学校	71.0	27.1	1.7	0
児童	57.5	28.7	10.3	3.3

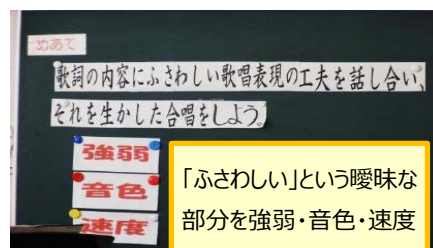
中学校	1	2	3	4
学校	55.4	39.9	4.4	0.1
生徒	41.4	37.8	15.9	4.7

- 1 当てはまる
- 2 どちらかといえば当てはまる
- 3 どちらかといえば当てはまらない
- 4 当てはまらない

平成27年度 全国学力・学習状況調査報告書 質問紙調査

学習のめあてをつかむ

- ポイント1 **焦点化** 本時で必ずできるようにさせる事柄を絞る
- ポイント2 **具体化** 本時のゴールがイメージできる分かりやすい言葉で示す
- ポイント3 **視覚化・音声化** いつでもめあてを確認できるように板書したり、読ませたりする



「ふさわしい」という曖昧な部分を強弱・音色・速度という言葉を加えることで話合いの視点が明確になっています。

学習のめあての見直し（例）

- ◆ **単元名になっていませんか？**
(例) 縄文時代のくらし → 縄文時代のくらしをまとめて説明しよう
- ◆ **学習問題になっていませんか？**
(例) どちらの土地が広いだろう → 土地の大きさを比べる方法を考えよう
- ◆ **何を学ばせるのかははっきりしていますか？**
(例) 自分の意見文に生かそう → 自分の意見文に生かせる筆者の表現の工夫をまとめよう



授業を支える学習規律

学力の向上を図るためには、子ども主体の授業づくりとともに、子どもに学びの基盤となる学習規律を身に付けさせることは、大切なことです。

学習規律は、子どもが守るものであると同時に、指導者が守る規律でもあります。全職員で共通理解し、継続して指導していくことが大切です。右を参考に、各学校の現状にあった学習規律を子どもとともに作り、実践していきましょう。



〈指導する上で大切にしたいこと〉

- ① 学校全体で、全職員の共通理解・共通実践を行う。
- ② 学習規律を守ることの意味や良さを、短く、わかりやすく伝える。
- ③ 重点項目を絞って、徹底して指導する。
- ④ 朝の会や帰りの会などで、振り返る。
- ⑤ いつでも確認できるようにする。
- ⑥ 小中連携、家庭と連携を取りながら取り組む。